

# 将 来 の 夢 ( 職 業 ) ( I want to be ~ )

- ( 1 ) ねらい  
 コ 自分が将来なりたい職業について友達と紹介し合い，身振りや手振りを交えてコミュニケーションしようとする。  
 英 職業を表す言葉やなりたい職業を言う表現に慣れる。
- ( 2 ) 言語材料 I want to be ~ .What do you want to be ? pianist,doctor,teacher,actress,baseball player 等
- ( 3 ) 展 開

過 程	活 動			備 考
	児 童	H R T	A L T	
はじめのあいさつ ( 2 分 )	1 はじめのあいさつをする。  Hello,Mr. ~ and ~ .  I'm fine thank you. And you?	Hello. Mr. ( A L T ) ・握手をする。自分から挨拶をしていくことに気付かせる。	Hello,Mr. ( 担任 ) Hello,everyone.  How are you?  I'm fine,too,thank you.	
ウォーミングアップ ( 3 分 )	2 「Simon Says」ゲームをして，ジェスチャーに慣れる。	・担任も率先してゲームに楽しく参加する。	・ゲームをリードする。	
復 習 ( 5 分 )	3 職業を表す英語を復習する。 pianist,doctor,teacher,actress,baseball player,driver	・子供と一緒に大きな声で発話する。	・絵カードを使い，大きな声でデモンストレーションを行う。	職業を表す絵カード
本時への導入 ( 7 分 )	4 なりたい職業を尋ねる表現となりたい職業を言う表現を知る。 “ What do you want to be ? ” “ I want to be ~ . ” の言い方に慣れる。	・ A L T に「 What do you want to be ? 」と尋ねる。	・ A L T の動作から職業を当てる。 ・ 正解が出てから絵カードを使いながら，「 I want to be ~ . 」を言う。	
アクティビティ 1 ( 9 分 )	5 職業あてジェスチャー伝言ゲームをする。 2 列で競う。	・ジェスチャーは短く，分かりやすく行うように伝える。 ・ジェスチャーがうまくできない児童に補助する。	・ジェスチャーがうまくできない児童に補助する。	
アクティビティ 2 ( 1 5 分 )	6 職業当てジェスチャーゲームをする。 隣の人と行う。 学級全体で行う。	・教師はうまく活動できない児童とゲームを行う。	・しっかり発話するように，「 I want to be ~ . 」の手本を示す。 ・発話に自信がない児童をサポートする。	
まとめ・ふりかえ ( 5 分 )	7 感想発表をする。 ・夢への実現に向けて	・数人に指名し，学習の感想を発表させる	・今日の学習で見られたよい点を誉め，次回への意欲化を図る。	
おわりのあいさつ ( 2 分 )	8 おわりのあいさつをする Good bye,Mr. ( A L T )		Good bye,boys and girls.	

< 「Simon Says」ゲーム >

活動の進め方

- ・ A L T (担任) は、体を一部をさわ  
るよう指示し、自分でもやってみる。
- ・ A L T が「Simon Says」とつけた場合  
は、児童はその指示に従う。つけない  
場合は、指示に従ってはいけない。
- ・間違えて命令通りに動かなかった児童  
は座っていく。
- ・ゲームに慣れたら、A L T はスピード  
をあげていく。
- ・最後まで指示通りに動けた子がチャン  
ピオン。

“ Simon says touch your head ”

体の名称

head, face, eyes, mouth, ears, shouldres, hands,  
foot, leg など。

「Simon Says」ゲーム



< ジェスチャーゲーム >

< ジェスチャー伝言ゲーム >

- ・ 2列になり後ろを向く。
- ・ A L T (担任) が “ What do you want to  
be ? ” と言ったら、最初の児童はジェ  
スチャーを2番目の児童に伝える。
- ・ 2番目の児童は、 “ I want to be ~. ”  
と言ってから、次の児童にジェスチャー  
で伝える。( ~のところをジェスチャー  
で伝える )
- ・ 3番目の児童からはこれを繰り返す。

- ・ 児童がお互いに、ジェスチャーをして  
どんな職業をなのかを当てる。
- ・ 多目的ホール内を自由に移動し相手を見  
つけ、一方の児童が “ What do you  
want to be ? ” と言ったら、もう一方の  
児童がジェスチャーを行う。正解が出  
たら、 “ I want to be ~. ” と言って、  
正解であることを伝える。お互いに聞  
いたり、答えたりする。
- ・ 最初は隣の人として、ゲームに慣れる。  
次に、学級全体で行う。
- ・ できるだけ多くの人に聞いた方がよい。

ジェスチャー伝言ゲーム



新しい言語材料に慣れる。ジェスチャー  
を使ったゲームに盛り上げる。

ジェスチャーゲーム



子供たちは、習った英語表現を使い、できるだけ多  
くの友達とコミュニケーションを行う。